

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立野村高等学校
学校番号(39)

評価実施日		令和 4年 2月 21日(月)	書面開催
委員	氏名		備考
	井上 恵一	野村石油(株)代表取締役	
	土居 文人	西予市教育委員会野村教育課長	
	徳村 学	西予自然牧場	
	山岡 三枝	西予市野城総合福祉協会事務局長	
	吉川 多賀子	まごころ銀行運営委委員	
評価・提言等		提言等に対する改善方策等	
今年度の最終評価について (1) 学習指導		・ 1年生は3時間以上学習時間を確保した生徒の割合が48.3%で学習時間が不足していることが問題である。家庭学習時間を確保した生活習慣の確立や学習方法の改善などを教科担当者やホームルーム担任と協力しながら継続的に指導していきたい。 ・ 1、2年生の皆勤率が低い傾向がある。日頃から生徒の動向に注意し、個々に合った指導方法を工夫したい。特に、長期休業明けの生徒の様子には細心の注意を払い、全教職員で連携を密にしたい。 ・ 類型選択や科目選択により生徒の多様な進路選択に対応できるようにしているが、さらなる工夫と改善に努めたい。また、家庭との連携の重要性を再認識し、改善を図りたい。	
(2) 生徒指導		・ 全体的に落ち着いて学校生活が送れていると感じる、身だしなみや挨拶についても概ね、良い評価をいただいているが、身だしなみ規則については、時代の変化をとらえながら適切なものになるように心がけたい。 ・ 欠席の多い生徒については、些細な兆候も見逃さずに関係職員で、相談や連絡を密にとり登校を促すように努めている。 ・ 事故やトラブルの防止については、警察や関係機関と連絡を密にしながら、事故防止、問題行動防止に努めたい。	
評価・提言等		提言等に対する改善方策等	
(3) 進路指導		・ 今後も進路情報の発信や進路資料閲覧室を整理して、生徒の進路意識の啓発に努めたい。 ・ 多様な受験制度を利用して、生徒の強みを生かした進路指導を推進する。 ・ 地元志向の生徒が多いため、総合型・学校推薦型入試の積極的な活用を推進したい。 ・ あやぐも塾については、今年度進路課で3年1類型の生徒と個人面談を行って入塾を勧めた。特に、地域課題の解決に向けた探究活動については、さらに連携を深めたい。	

<p>(4) 特別活動（生徒会活動、学校行事等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政の広報や新聞紙面でもその活躍がよく取り上げられおり誇らしい。学業以外の活動も充実させていてすばらしい。 ・コロナ禍で行事等が難しいと思うが、工夫をして活動を継続してほしい。 ・個々の生徒が活躍でき、満足度が上がるような活動を今後も継続してほしい。 ・部活動については、生徒数が減少し運営が大変だと思うが、好成績を取めている部も複数あり、今後もがんばらせてほしい。 ・今後も地域と連携した活動をお願いしたい。野村復興まちづくり計画関連も継続してほしい。地域を愛する人材を育成してほしい。 ・生徒会活動について、次年度、野村中学校と共同学習（活動）をさせてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数が少ないことを利点とし一人一人に時間をかけ丁寧に指導することができ、個々の能力に応じて伸び伸びとした活動ができていると感じる。 ・地域との連携についても、様々な場面で生徒から自主的に参加を申し出る活動も多く、生徒会等を通じて活動を更に後押ししていきたい。 ・行事については感染防止の観点から、縮小を止むを得ない場合が多かったが、できるだけ工夫を凝らし、学校生活が充実するように生徒主体の活動を取り入れたい。
<p>(5) 読書指導・情報教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で読書時間を設定しているのもよい。インターネットで手軽に情報が得られる世の中だが、読書は有効であると考えるので、推奨してほしい。 ・HPで生徒の活動等がよく分かる。今後も充実させてほしい。 ・ICTを活用した情報教育が本格的に始まっており、生徒自身の学習環境及び指導者の研修環境の充実をさせ、情報教育の一層の推進をしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もSHRで文章を読む時間を設けるなど、読書環境の充実に努め、学校全体で読書活動を推進していきたい。 ・HPについても、引き続きタイムリーな発信が続けられるように努めていきたい。 ・ICT活用については、始まったばかりで、まだまだ課題はある。効果的な活用について、継続して研究していきたい。
<p>(6) 人権・同和教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒・教職員の皆さんの人権意識が高く安心している。 ・県立学校人権・同和教育訪問に参加し、日常の取組等がよく分かった。助言等を参考にしながら、さらに学習に取り組んでほしい。 ・人権作文の中で感慨深いものがあった。自分の意志を貫き通すことができる生徒の指導を今後も継続してほしい。 ・携帯電話でのいじめ等への対策にも注意が必要ではないか。 ・小・中・高の連携が大切だと感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・教職員ともに、他人への思いやりの意識は定着している。毎月の人権デーのほか、教職員を対象にした研修会、生徒を対象にした人権標語・作文の取組を続けていくとともに、リーダーとなる生徒の育成のために、人権委員会の活性化にも努めたい。 ・インターネット上の書き込み等への対策は、定期的・継続的に生徒への啓発を行う必要がある。 ・小・中の公開授業への参観を教職員に促すとともに、児童・生徒が交流できる場づくりを模索したい。
<p>(7) 学校魅力推進（全国募集、寮・下宿等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちの校外での生活態度や活動状況ともに大変素晴らしい学校であるのに、志願状況に十分につなげていないのがさびしい。 ・志願者が増加するよう、学校のPR活動（魅力化）を粘り強く継続してほしい（畜産科のアピール、県外生徒へのアピールの充実も必要）。 ・公営塾は順調な滑り出しができていようだ。研究活動支援、「のむら復興まちづくり」や大学入試対策等、地域と連携した活動ができており、今後も継続・充実させてほしい。 ・畜産科で進めている6次産業化の取組（授業と連動した社会経済活動）等、その特性を生かした事業を実施したり、県畜産研究センターとの連携を図るメニューを検討するなどにより、魅力化向上につなげてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域みらい留学等を含めた効果的な学校PRができるように、内容を改善していきたい。特に畜産科の活動や軌道に乗ってきた公営塾の活動等、本校の強みの部分を前面に出していくことがよいと思われる。 ・公営塾は、コロナ禍であるにもかかわらず、初年度にしては様々な活動を行い、順調な滑り出しを見せている。来年度も地域と連携した活動が充実するよう協力していきたい。 ・寮のトイレ改修工事や女子下宿生の寮での夕食の整備など、かなり環境も良くなってきている。全国募集をするにあたり、今後も施設等充実するように努めていかなければならない。
<p>(8) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「緑ヶ丘通信」はイベント的な場面を減じて、学校における新たな取組等を掲載すれば、保護者の理解につながるのではないか。 ・教職員の負担軽減も大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「緑ヶ丘通信」その他、様々な情報発信の機会を捉えて、学校の新たな取組も発信していきたい。 ・教職員の「働き方改革」が、生徒の指導・支援の改善・充実につながるような、業務精選・改善をすすめていく。